

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	岡谷太鼓まつり 50周年記念事業
事業主体 (連絡先)	岡谷太鼓まつり実行委員会 岡谷市産業振興部 商業観光課 0266-23-4811 (内線 1454)
事業区分	主となる区分：(6) ア 特色ある観光地づくり 関連する区分：(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	4,426,246 円 (うち支援金：2,990,000 円)

事業内容

- ・メインステージ背面に過去のまつりの様子等を映写。また、特設ステージを設置し、多彩な演出を披露した。
- ・スペシャルゲストとして EXILE ÜSA 氏に来ていただき、子どもたちのダンスにアドバイスやエールをいただいた。
- ・打ち手の後継者育成のため、市内7小学校の1～3年生を対象に太鼓教室を開催。
- ・市民参加の促進を図るため、手作りの太鼓制作教室を開催し、各自で作成した太鼓での参加による「市民コラボステージ」を企画・実施
- ・50周年記念誌とまつりの映像をまとめたDVDを制作し、小中学校や関係団体に配布。教材として活用。
- ・過去50回のポスター展を開催。
- ・ノベルティとして葉を制作し、PR用として配布。

事業効果

- ①ノベルティとして制作した葉の配布や、ポスター展等により岡谷太鼓まつりの魅力を広くPRでき、来場者の増加につながった。また、市内金融機関では、ポロシャツの着用や写真展等を実施するなど地域からもまつりを盛り上げていただきPR効果があった。
- ②市内小学校の太鼓教室では、実際に太鼓に触れることにより、興味を抱かせるとともに、太鼓の楽しさを直接肌で感じる事ができた。
- ③MINAKOI わっさかの子ども部は、前年より2チーム増加。「市民コラボステージ」は65組の親子が参加。
- ④来場者数は2日間で、14万3千人となった。

今後の取り組み

- 岡谷太鼓まつりの1番の見所である300人揃い打ちを、今後も継続して実施していくため、岡谷太鼓保存会や関係団体と連携しながら打ち手の後継者育成を図っていく。
- 岡谷太鼓まつりに、多くの市民に参加していただくため、各学校が太鼓学習に取り組みやすい環境を整えるとともに、記念誌やDVDを活用できる機会を与え、太鼓だけでなくMINAKOI わっさかや子どもパレードなどへの参加者増を図っていく。
- 観光客数の維持、増加を図るため、首都圏等で開催されている商談会等でPRしていくほか、神戸空港や中部横断自動車道の開通などを活用し、新たなエリアへのプロモーションを行い、誘客促進に努めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【小学校太鼓教室の様子】

【目標・ねらい】

- ① 岡谷太鼓まつりの魅力発信
- ② 後継者育成
- ③ 市民参加の促進
- ④ 観光客の増加

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・来場者数は目標には届かなかったが6%増加。
- ・記念誌は、50年の歴史が分かり好評を得ている。
- ・関係団体と連携し、太鼓まつりの魅力を広くPRできた。